

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2016. 9. 1 5.

NO. 4

全日本建設交運一般労働組合

全国学童保育部会 発行

編集：事務局

第18回建交労中央大会

指導員の賃上げ、すすむ

8月27〜29日、「第18回建交労中央大会」が、群馬県磯部温泉で開催されました。約160人の代議員・特別代議員が参加し、一年間の運動方針を確認しました。学童保育では、部会長の立嶋さん、愛知の山本さんが発言し、また組織拡大表彰では愛知学童支部が優秀賞を受けました。



部会長、立嶋さん
 新制度の中で、学童

中央本部から、安倍政権の暴走をストップさせる、そのために国民との共同を広げるとともに、「第4次中期計画」に基づき、組織拡大・機能の強化を図っていくと、方針提起がされました。

指導員の社会的地位の向上を発言した立嶋さん。

また、思い切った組織拡大に踏み出していききたい。

しかし、処遇改善費を予算化している自治体は、わずかにとまっている。今後、すべての自治体で予算化されること、国の補助基準額に処遇改善費が組み込まれ指導員の給与確保ができるように運動を強化していきたい。



大会議長を務めた群馬支部、山田さん。

愛知支部、山本さん

要求アンケートと拡大をつなげて活動してきました。

未組織指導員の調査と把握を合わせてアンケート活動を展開し、約2か月の取り組みで228枚を集約した。



愛知支部の春闘、組織拡大を発言した山本さん。

国の予算と新制度など情勢が大きく変わった。指導員の働き方に光が当たった。処遇改善の情報と学習を積み重ねて、月給者はこれまで最高の賃上げ、初任給の大幅アップを勝ち取った。そのことを各地域に広めた。31人の拡大、純増16人



100人以上の支部で、前年比10%以上の拡大をし、優秀賞に輝いた愛知支部。赤羽委員長（前）より表彰状を授与された山本さん。



今回の役員改選で、新しく中央執行委員長となった角田さん。建交労として、初の女性委員長となりました。

人、110%の組織化に成功した。次は200人を目標に一層奮闘したい。